

ベストサービスアワード

サービスの向上のための1年間の取組みを発表・表彰する研修企画です。

第11回ベストサービスアワード（最終選考会研修）

【ベストサービス賞】

堺市重症心身障害者（児）支援センター ベルデさかい



【テーマ】

夏とプールと重症心身障害者（児）〈あたりまえの生活を支える特別な技術〉

【動機】夏になれば多くの方はプールに入り涼を楽しみます。しかし、重度の障害があり、気管切開や人工呼吸器を装着されている方は、夏の風物詩と言えるこうした楽しみへの参加に制約を受けることも少なくありません。

しかし、ベルデさかいには屋内プールが併設されているという恵まれた環境にあるわけで、あとは、職員の技術力、連携力、計画力、そして何より熱意で何とかできるのではないか・・・と考え、一部の人だけでなく、入所者全員（50名）を対象にプールを楽しんでいただくことにしました。

【取り組み内容】

平成26年6月～9月までの間の毎週水曜日に2名～5名ずつに分かれてプール活動を行いました。「全員」実施という計画性と継続性を前提としつつ、個別の状況（気管切開、人工呼吸器、体温調節困難、弱視など）にあわせ、水中での支援技術、スタッフと設備の配置、何よりスタッフ間（医師・看護師・セラピスト、生活支援員、相談員など）の連携を確認しながらの取り組みになりました。その結果、残念ながら術後等で3名の参加が叶わなかったものの、残り47名の方に、この夏の思い出の一つを作っていただくことができました。そして同時に、この取り組みを通じて、個々のスタッフの支援技術は確実に向上し、ご家族と施設との信頼関係も深まったように思います。

【授賞式での評価コメント】

重症心身障害者児の支援にあっては、プール活動自体、高度な専門性や人員確保対策などが問われる困難な取り組みであり、様々なリスクを理由に結局実施できないことも少なくありません。しかし、そのような難しい取り組みを、「全ての」ご利用者に対して実施するという、施設全体の計画性と粘り強さ、何より「徹底するという意思」が評価されました。また、この取り組みを通じて、各専門職員の意識と能力のレベルアップに繋がっている点も評価され、ベストサービス賞を受賞されました。